



2021年1月入職

は っ と り な お き
服 部 直 樹

何気ないコミュニケーションから、ご利用者さまの行動が変わる

充実した研修制度のおかげで、未経験からでも即戦力になれる

前職では児童福祉と保育士の両方に関わっていて、キャリアの方向性としてどっちつかずになっているという葛藤がありました。その時期はちょうどコロナ禍であり、苦しんでいる高齢者の方たちの姿を目にする中で、自分の力でリハビリや在宅復帰の一助になりたいと思ったことが、福祉の道を選んだきっかけです。善仁会グループを選んだ一番の理由は、研修制度が充実していたことにあります。半年間のOJTに加え、ひとり立ちしてからもその都度新入職員に対してサポートがあるので、未経験からでも着実に仕事を覚えていくことができました。

いま感じているやりがいは、ご利用者さまの変化を目の当たりにできることです。歩けるようになったり、笑顔が増えたり、言動が前向きになったり。そのような変化は、私自身の行動によっても生み出すことができます。たとえば、ある程度自立されている方はご自身のお部屋で過ごす時間が多い傾向にあるのですが、その方たちのお部屋に用事はなくても立ち寄ってみるようにしています。「何かご用事？」といわれることもあるのですが、「なにかお話しませんか」と何気ないコミュニケーションの機会を作るようにしています。そういった関わりを続けていると、それまで消極的だったリハビリに対して前向きに取り組んでもらえることもあるからです。

研修をとおして、考えていたことが言語化できた



思いやりエキスパートの研修を受ける中、自身の改善すべき点が多々見つかりました。たとえば、敬語が伝わりにくい利用者さまには少し砕けた口調で対応していたのですが、関係性はあくまでもご利用者さまと介護福祉士です。お一人おひとりとの距離感を意識した上で接する必要があるのだと気持ちが引き締まりました。

「アサーティブコミュニケーション」について学ぶことができたのも、大きなプラスになったと感じています。相手を尊重しつつ、自分の意見や要望を伝えるというコミュニケーション方法なのですが、同じようなことを自分なりに考えていたものの、言語化できずに悶々としていました。研修をとおして体系的に学べただけでなく、応用の方法も知ることができたので、これからは日々の業務で積極的に実践し、ご利用者さまはもとより周囲のスタッフなど誰からも「コミュニケーションが取りやすい」と思われる存在になるよう努めてまいります。



立ち居振る舞いを意識し、
安心感を大切にした
介護に努めてまいります。
服部 直樹